

九月の行事

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		
月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日		
	北辰会場提供①	始業式 総合避難訓練	体育祭係打ち合せ	星美彩活動準備報告期間(18日) 高一・高二模試(高二 七限授業あり) 中学学力推移調査(一～四限 五・六限授業)	単位追認試験②	体育祭合同練習(8時10分～8時25分) 第五支部生活指導部会 16時30分～	父母の会定例会③																								

十月の主な行事予定

5日	中三保護者会 コート採寸
6日	英語検定試験(第2回1次)
9日	高三模試⑥
12日～13日	星美彩
15日	振替休日(13/10)
23日	中間試験(高一)
24日～28日	中間試験
25日	定期試験に係る休日
28日	モアレ検査(中一) 情報特別授業(高一)
30日	中二軽井沢総合的学習(11/1) 高二模試

「今年度のストレンナ」について

シスター 松永 照美

星美学園の創立母体であるサレジアン・シスターズは、北イタリアのモルネーゼで、聖ヨハネ・ボスコと聖マリア・ドメニカ・マザレロにより創立された、青少年教育を使命とした修道会です。一九世紀末に創立されたサレジアン・シスターズは、今では九五か国に広まっており、サレジオ家族すべてを含むと一四〇か国に存在しています。毎年、このサレジオ家族の総責任者であるサレジオ会総長様から、サレジオ家族に關係するすべての人々に、「Strienna ストレンナ」贈り物のメッセージが届けられます。今年のタイトルは、「聖なる者になろう！わたしの喜びがあなた方の内にあるように。」(ヨハネ福音書15章11節)です。

さて、「聖なる者になろう！」というこのタイトルを耳にして、親しみを抱いた方はどれだけのいるでしょうか。「聖なる」という言葉に、違和感、もしくは、耳慣れない響きを持つ言葉として感じた方、または、現実から逃避した少し変わり者の人たちをイメージした方もいるかと思えます。

今回のストレンナは、現代世界における「聖性」への呼びかけについて述べられている教皇フランシスコの使徒的勧告、『喜びに喜べ Gaudete et Exultate』から取られています。教皇様は勧告の中で、「聖なる者になる」とは、特別な人のためではなく、すべての人への呼びかけであり、一人ひとりが置かれた現実、現状の中で、いただいた命をより良く生きることが幸せな生き方である」と述べています。また、「聖なる者になる」ために、司祭、修道者である必要はなく、次のように述べています。「それぞれが置かれている場で、日常の雑務を通して、愛をもって生き、自分に固有のあかしを示すことで聖なる者となるよう、私たち皆が呼ばれているのです。あなたは既婚者ですか。あなたの夫、あなたの妻を愛し大切にすることで聖なる者となりなさい。あなたは働く人ですか。自分の仕事を誠意と能力を尽くして果たすことで、聖なる者となりなさい。あなたは子や孫をもつ身ですか。幼い子どもに根気強く教えることで、聖なる者となりなさい。あなたは権限ある立場の人ですか。共通善のために闘い、己の利益を顧みずに務めることで、聖なる者となりなさい。」つまり、「聖なる者になる」とは、あらゆる年齢、人生のあらゆる段階において、「どのように生きるか」が問われています。

この教皇様の呼びかけは、青少年教育を使命とするサレジオ家族にとつて、大切なメッセージです。私たちは教育という役割を通して、子どもたちの幸せを願いつつ、日々の関わり、教育活動を行っています。様々な価値観がある現代社会において、「幸せ」を提示することは難しさを感じます。しかし、ミッション・スクールであり、サレジオ精神に基づく本校では、命を与えてくださる神様が、一人ひとりを「良いもの」「聖なる者」として創造され、その一人ひとりの中に備わっている「良さ」を生きることによって、本当の幸せにつながるかと確信しています。

創立者である聖ヨハネ・ボスコは、どんなに難しい青少年の中にも、良いところを必ず見つけ、そこから信頼ある関わりを築き、青少年自身が、自分の中にある良さ、才能、賜物を発見し、自信と喜びをもって生きるよう導きました。この創立者の思いを心に抱き、生徒たち一人ひとりの中に蒔かれている素晴らしい種を一緒に育みながら、共に「聖なる者になる」人生の道を行んでいくことができればと思います。二学期も、どうぞよろしくお願いいたします。